

# 勝敗が同じ場合の勝ち上がり基準について

5 角形リーグにおいては…

1. 直接対決での勝敗を優先とする。
2. ゴールアベレージ

※ ただし、直接対決のない同勝敗チームにおいては、**決定戦**を行う。

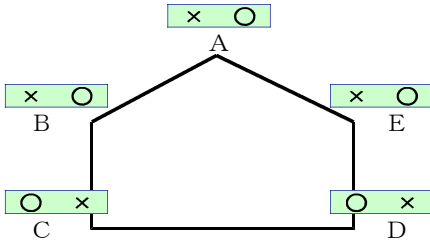
※ 適応例については、下を参考にしてください。



## 対戦例

5 チームが並んだ場合

← [ ゴールアベレージ適応例 ]



対戦表 (ブロック表)

	A	B	C	D	E	勝	敗
A		x			o	1	1
B	o		x			1	1
C		o		x		1	1
D			o		x	1	1
E	x			o		1	1

※ A~Dまで、勝敗での優劣が生じていない。

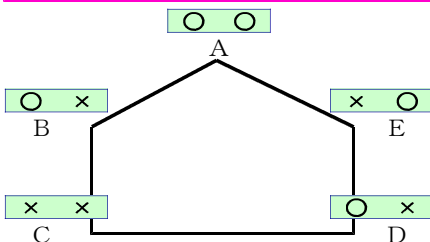
○ すべてのチームが勝敗にかかわる試合を行っており、なおかつ試合日程は、すべて消化しているため、ゴールアベレージが適用される。

つまり、この場合においては試合終了後、ゴールアベレージの高かった2チームが決勝リーグに進出となる。

【ゴールアベレージ算出方法】

$$\text{総得点} \div \text{総失点} = \text{ゴールアベレージ}$$

3 チームが並んだ場合



対戦表 (ブロック表)

	A	B	C	D	E	勝	敗
A		o			o	2	0
B	x		o			1	1
C		x		x		0	2
D			o		x	1	1
E	x			o		1	1

※ Aは2勝しているので、決勝リーグへ進出となる。

【残り1枠の決定基準】

○ DとEは直接対決で、Dに勝っているため E が優先勝者となる。よって、Dの決勝リーグ進出の可能性はなくなる。

○ 残りのBと、直接対決を制しているEが1勝1敗で並ぶことになる。この2チームは直接対決をしていないので、代表決定戦を行う。

その他について

2チームが同勝敗となった場合も同様で、決勝リーグ進出にかかわるチームどうしが、直接対決をしていた場合、その試合の勝利チームにリーグ進出の権利がある。

直接対決が行われていない場合については、**代表決定戦**を行う。

(試合時間は、5-1-5-3-5-1-5で行う。)